

令和6年3月15日

保護者の皆様へ

愛西市立佐屋小学校長
嶋藤 真由美

学校評価 保護者アンケート結果のお知らせ

早春の候、保護者の皆様には、日々、学校教育にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。ご多用のところ、保護者アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。多岐にわたり、たくさんのご意見をいただきました。次年度からの佐屋小学校の指針としていきたいと思ひます。

1 保護者アンケート結果（3年間の推移）

4段階評価

教育計画・指導		R 3	R 4	R 5
1	学校は、読み・書き・計算などの基礎学力定着のため、きめ細かい指導を行っている。	3.09	↗3.11	↗3.13
2	学校は、一人一人を大切に授業を行っている。	3.01	↘2.94	↗3.08
3	学校は、楽しく分かりやすい授業を行っている。	3.12	↘3.08	↗3.13
4	学校は、ICT機器（コンピュータ、タブレット、インターネット、プロジェクター、実物投影機など）の使用によって、学習効果を高めている。	3.21	↘3.04	↗3.12
5	学校は、子どものよさや努力したことなどを認めている。	3.23	↘3.21	↗3.26
6	学校は、「生きる力を育む」というねらいをもって指導している。	2.91	→2.91	↗2.96
7	学校は、外国語・外国語活動や情報教育を、ねらいをもって効果的に行っている。	2.84	↘2.77	↘2.74
8	学校は、活動内容の充実した行事を計画し、しっかりと運営している。	3.19	↘3.16	↘3.14

学校経営		R 3	R 4	R 5
9	学校は、児童の不適切な言動に対し、きちんと指導している。	2.92	↗2.94	↗3.02
10	学校は、困ったことや悩みなどを理解し、誠実に対応している。	2.99	↗3.06	↗3.13
11	学校は、いじめの早期発見・再発防止に力を入れている。	2.91	↗2.92	↗2.99
12	学校は、子どもたちが安全に安心して過ごすことができるようにしている。	3.23	↗3.29	↘3.20
13	学校の施設・設備はきちんと整っている。	2.95	↘2.94	↘2.80
14	学校は、教育活動の様子や情報を保護者にきちんと伝えている。	3.05	↘3.00	↗3.06
15	学校は、「開かれた学校」に向けて努力し、保護者・地域の願いに応えている。	2.95	↗2.96	↗3.00

子どもたちの育ち		R 3	R 4	R 5
16	子どもたちは、いろいろなことに意欲的に取り組んでいる。	3.15	↘3.11	↗3.15
17	子どもたちは、楽しく学校に通っている。	3.34	↗3.35	↘3.34
18	子どもたちは、きちんとあいさつをしている。	2.94	↘2.89	↗2.92
19	子どもたちは、交通ルールをきちんと守っている。	2.94	↗2.98	↘2.94
20	子どもたちは、ていねいな言葉遣いをしている。	2.51	↘2.50	↗2.54

合計		3.03	↘3.01	↗3.03
----	--	------	-------	-------

回答数 373 回答率 89.0% (昨年度回答数 398 回答率 90.2%)

- ➡ 本年度の評価は、昨年度と比べ14項目で高い評価となり6項目で低い評価となりました。
- ➡ 「教育計画・指導」は、昨年度より高くなっている項目が多く見られました。項目5が最も高い評価でした。日頃から担任をはじめ、すべての教職員で子どもたちのよさを認めることを意識していますので、この結果についてはうれしく思います。一方で項目7が最も低い評価でした。外国語の指導は専科の教員とALTが協力し、専門的な指導をすることができています。外国語が教科化された高学年の保護者の方にとっては実感があるようですが、中学年以下の保護者の方にとっては、実感できるレベルには達していないようです。
- ➡ 「学校経営」は、昨年度より高くなっている項目が多く見られました。項目12が最も高い評価でした。子どもたちにとって安心・安全な環境を整えることは、学校教育の土台となる部分ですので、大切にしていきたいと考えています。一方で項目13が最も低い評価でした。施設の老朽化が進んでいるため、児童の安全に関わる部分については市教委と相談しながら優先的に対処していきたいと思ひます。
- ➡ 「子どもたちの育ち」は、項目17が最も高い評価でした。これは学校としては最もうれしい結果です。この結果に慢心することなく、さらに高い評価が得られるように取り組んでいきます。一方で項目20が最も低い評価でした。昨今、言葉に対する関心が高まっており、本校でも言葉に関わるトラブルは散見されます。言葉の乱れは心の乱れとも言われます。まずは教師や保護者など、大人が率先して正しい言葉遣

いをし、子どもたちに手本を見せていくことが大切だと考えます。

2 保護者の皆様の主な声

1 学習指導について

○ 皆がしていることが普通。多数派が正解で少数派は間違いのような考え方を押し付けず、意見や個性を認める接し方をしたいと願っております。

○ 型にはめるのではなく、子ども一人一人の個性を大切に、それぞれの素敵なところを伸ばしていけるような言葉がけや教育をしていただけたらうれしいなと思っています。

➡ 世の中は、一人一人の個性を尊重し、多様性を認め合う時代へと進んでいます。それは、「予測困難な時代」において、社会の様々な課題を解決していくには、多様な他者と認め合い、協働する力が不可欠だからです。

そのため、学習指導要領でも「個別最適な学び」が強調され、それぞれの子が自分の目標や進度に合った形で学んだり、自分の興味・関心のあるものを選んで学んだりすることが求められています。また、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に推進していくことも求められています。「協働的な学び」とは、探究的な学習や体験活動などを通じて、子ども同士、あるいは企業や地域の人など、多様な他者と協働しながら学んでいくことです。本校でも、これらのことを意識しながら、日々の学習活動を行っています。

しかし、今なお、旧来的な価値観が残っている部分があることは否定できません。教員も研修を積んでいますが、急には変わることができず、無意識のうちに旧来的な方法を取ってしまったり、子どもを型にはめてしまったりしていることもあると思います。公立学校の一斉授業の中で個を大切に教育を行うということは構造的な矛盾もはらんでおり、とても難しいことだと考えます。しかし、未来を生きる子どもたちのために更に研修を積み、現在の枠組みの中でできる限りの対応をしていきたいと考えています。

2 登下校・地域生活について

○ 登下校時の「あいさつ運動」に参加しても、子どもたちからあいさつがないので、各家庭からと学校からあいさつするように声かけがあるとよい。

○ あいさつを全くしない。まずは大人が見本になれるといいですね。先生だけでなく、各親たちが率先していかなければならないと思います。

○ 地域とのつながり、あいさつなどをもっと徹底したら良いと思います。

➡ あいさつに関わるご意見がたくさんありました。実際に校長・教頭も毎朝交代で南門の横断歩道に立ち、登校指導をしています。子どもたちにあいさつをしても、ほとんど返ってきません。中には、いつも大きな声でしっかりとあいさつができる子もいますが、ほとんどの子は無反応で、あいさつが返ってきたとしても声は小さく、「あいさつがしっかりとできていない」という保護者の皆様の評価は納得できるものです。しかし、一つ擁護させていただくならば、子どもたちは校内において廊下等ですれ違うときの「おはようございます」や「こんにちは」などのあいさつはできています。したがって、子どもたちは特に校外でのあいさつが苦手なのではないかと思われまます。

子どもたちの声が出なくなったり、あいさつができなくなったりしたのは、コロナ禍において、大きな声で話すことが制限されたことが大きく影響しているように感じます。子どもたちはコロナ禍では、「飛沫が飛ぶから大きな声で話してはいけない」という指導をされました。そして今年度、コロナの感染症法上の位置付けが「5類感染症」に変更され、そのような様々な制限がなくなりました。しかし、子どもたちにとって急に以前のように戻すことは難しいと思われまます。また、学校でも以前のようなあいさつの指導に戻し切れていない部分もあります。そのため、コロナ禍以前のようなあいさつができるようになるまでには、同じだけの期間か、もしくはそれ以上の時間が必要ではないかと考えています。

校外でのあいさつが苦手なことについては、不審者情報の増加が関係しているように思われます。昨今、不審者情報が多く寄せられ、学校ではその度に子どもたちの安全を守るために注意喚起をしたり、指導を行ったりしています。子どもたちはそのような状況にさらされることによって、校外においては反射的に必要以上に他者との距離をとってしまっているのではないかと思われまます。自分の安全を守るためには、ある程度の物理的・精神的距離をとる必要があることは間違いありませんが、子どもたちにその微妙な距離感を理解させることはとても難しいことです。そう考えると、子どもたちにとって見知らぬ人にあいさつをするということは、私たちが思っている以上にハードルの高いことなかもしれません。

そのように考えて、現状は一方的であっても粘り強くあいさつをし続けることが大切ではないかと考えまます。学校でもあいさつの指導は続けて行いますが、保護者の方のご意見にもあるように、学校での指導だけでは十分ではありません。保護者の皆様におかれましても、家庭での声かけやPTA生活指導部が行っている「あいさつ運動」への参加にご協力いただき、粘り強く子どもたちに声をかけていただきたいと思います。

3 今後の取組について

保護者アンケートにたくさんのご意見をいただきありがとうございました。すべてのご意見にお答えするのが本意ではございますが、紙面の関係上、主なものに限らせていただきました。皆様のご意見をよりよい学校運営に向けて参考にさせていただきます。また、お気付きの点やお問い合わせ等ございましたら、ご遠慮なくお知らせください。今後とも、子どもたちのために、使命感をもって、精一杯努力して参ります。ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。